

## 楽しさも厳しさも、未来から生まれる

**生徒** 先生は、授業で自分の体験をたくさん話してくださいませ。外国人とのコミュニケーションギャップや海外でのハプニングなどの話はとても面白くて、授業内容とともにずっと心に残るんです。

**先生** 先生は英語を学ぶ過程で様々な人に出会い、素敵な体験をしてきたから、それをみんなに伝えることで、英語への興味や関心を高めてほしいと思っているんだよ。言葉は、人を幸せにするためにあるんだからね。

**生徒** 先生は私たちが英語を楽しめるように、すごく工夫してくださっていると感じます。授業の予習プリントも、授業の進度に合わせていろいろと改良が加えられていて……。見る度に「私たちが勉強しやすいように考えてくれているんだ」と実感します。

**先生** 授業の準備には本当に時間をかけているんだよ。だから、その努力がちゃんと伝わっていることが分かって、先生はとってもうれしいよ。涙が出そう（笑）。

**生徒** 生徒に英語を好きになってもらうことに情熱を注いでいる先生だと思います。先生が中心になってプログラムを作られた海外研修の日程表を見た時、外国の人と調整しながらこれだけのプログラムを組むのは

大変なことだと私にも分かりました。それだけに、研修はハードでしたが、「先生が私たちのために力を尽くしてくれたのだから」という思いで頑張れました。

**先生** シンガポール大学での模擬国連などは本当にハードだったよね。でも、みんなも妥協することなく、しっかりと準備して臨んでくれました。大きな視野で生き方を考えるきっかけになったのなら、うれしいなあ。

**生徒** うれしいことがあった時の先生は、周りが見えなくなったように大喜びしますよね。先生が僕ら以上に燃えていたクラスマッチで勝利した時も、先生は大喜びして、その姿を見た僕らも「うわー、先生、めっちゃ喜んでるやん」とうれしくなりました。

**先生** 授業やHRではいつも明るく、楽しい先生だけど、学年集会で進路のことを話す時は、人が変わったように厳しい先生になって、いつもあの迫力に圧倒されて、「今のままではダメだ」と心から思うんです。

**先生** 学年集会でみんなの前に立つと、いつも卒業式のことを考えてしまうんだよ。先生の夢は、「全員が第一志望に現役合格し、卒業すること」。そのために自分にできることは何でもします！

**大目木俊憲先生** 教職歴 31 年。同校に赴任して 6 年目。国際理解教育委員長。英語科主任。

**兵庫県立川西緑台高校** 全日制/普通科/共学/1 学年約 320 人/2016 年度入試合格実績 (現役のみ) 国公立大は、京都大、大阪大、神戸大などに 102 人が合格。私立大は、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大などに延べ 612 人が合格。